

令和3年度 篠ノ井高校（全日制） 学校評価表

22 篠ノ井高等学校（全日制）

教育目標	①真理と学問を愛し、高い知性と豊かな教養を身につけた人の育成
	②進歩と向上を信じ、小成に甘んぜず、絶えず理想をめざす人の育成
	③精神と身体を鍛え、明朗で積極性のある人の育成
	④自主と自律を尊び、常に計画性を持ち、節度のある人の育成
	⑤勤労と責任を重んじ、堅実にして協調性のある人の育成

中期目標	①自主性・責任感を育てる
	②授業を中心にして学力の伸長を図る
	③進路目標を明確にさせ、その実現を図る
	④クラブ活動、委員会活動の充実を図る
	⑤様々な活動を通して、生徒のより豊かな心と人間性を育てる

	評価項目	評価の観点	評価の材料	担当分掌	中間評価
今年度の重点目標	①いじめ・体罰のない安心・安全な学校づくりの推進	いじめ・体罰の早期発見、早期対応ができたか。	・いじめアンケートの実施と組織での対応	生徒指導係、学年、担当教員	5月、10月にいじめアンケート（学校生活アンケート）をオクレンジャーで実施した。緊急で対処する回答はなかったが学習、進路に対する不安を抱えている生徒が多く慎重に対応した。1、2年生は1月に3回目のアンケートを実施予定である。
		人権意識の高揚に努めたか。	・人権教育映画鑑賞、職員人権研修会の開催	人権教育係	職員対象の研修は5月19日にCAPながののお願いし相談力向上の研修を実施した。生徒対象は10月18日に実施予定。
		生徒一人ひとりの情報を共有し、組織的な対応ができたか。	・個々の生徒に対する支援計画の立案、支援会議の開催 ・情報の共有	相談係、学年	支援計画の立案・支援会議の開催については、必要に応じてSCやSSW、担任、学年と連絡をとりながら実施する予定である。情報共有に関しては、毎週相談係会を開く等で学年との情報共有に努めている。
		交通安全の徹底、特に、自転車事故減少に努めたか。	・交通安全指導、交通事故件数の経年比較	生徒指導係	4月に交通安全指導の専門家を招いてリモートにて講演会を行った。リーフレットを用い、危険予知の観点から自転車の安全な乗り方を分かりやすく解説していただいた。昨年度に比べ事故件数は若干少く推移している。
	②健康で健全な基本的生活習慣の確立の支援	生徒の生活習慣の把握に努め、その結果を職員で共有し、個々の生徒の支援を行ったか。	・スタディーサポート、アンケート実施、面談の定期的な実施	進路探究係、学年	スタディーサポートの結果について、講師を招いて検討を行い、年度前半の指導について学年・教科で確認した。
		スマホ利用に対し、適切な指導ができたか。	・スマホ使用規定作成、徹底 ・研修等の実施 ・保護者の意識醸成	生徒指導係、生徒会係、学年	スマホの使用規定に関しては保護者には入学式に、生徒には入学後のオリエンテーションで生徒指導係から紙面を使い説明をした。また日頃の使い方や間違った使い方を未然に防ぐために専門家による講演会も行った。また、不適切な利用をなくすよう日常的な注意喚起と指導を行った。
		家庭学習時間の確保に努めたか。	・学習実態調査と結果の分析・改善に向けての検討 ・経年比較 ・教科課題の精選	進路探究係、学年、各教科	実態調査は年度後半に行うが、スタディーサポート等の実態アンケートを参考に面談に取り組んでいる。また、学年の係を中心に分析をおこなった。
	③「主体的・対話的で深い学び」の実践と進路指導の充実	自主的・探究的に学ぶ姿勢の育成に努めたか。	・「主体的・対話的で深い学び」の導入 ・キャリア教育への参加状況・進路行事への参加状況 ・探究学習の取り組み状況、探究的行事への参加状況	・各教科 ・各学年 (進路探究担当) ・生徒会	タブレットを活用した、双方向の対話的で深い学びが導入できた。 凡事徹底・生徒が落ち着いて学業に専念できるよう、学校生活の基礎を身につけさせることに主力を注いだ。
		職員の研修、スキルアップに努めたか。	・校内授業研修 ・職員進路研修会 ・研修会への参加	教頭、教務係、進路探究係	進路係は6月に進路研修会、8月に小論文研修会を実施した。
		高大接続改革に向けて必要な資質・能力を身につけさせることができたか。	・高大接続改革の研究・共通テストへの対応状況 ・大学出前講座等の利用、大学AP等の理解と情報の提供 ・英語4技能化の着手、進捗状況	進路、教務	ポートフォリオという形にならなくても、生徒各自が取り組んだ活動等について、記録を残すよう指導している。共通テストに関しては2年目であるので、難化することを予想して演習等を行っている。情報提供については、各学校の案内等を廊下に出し、常時閲覧可能としている。出前授業は、特進で信大を招く程度で今後は、2年次に従来のような出前授業が必要かどうかを含め係で検討する。
		「主権者教育」「信州学」を有効に取り入れたか。	・各教科の授業での取り組み ・総合的な学習、LHRでの取り組み	学年、各教科	・長野市の出前授業で、篠ノ井地区の歴史や課題について学んだ。 ・SDGsに関わる講座を開いた。
	④クラブ活動・生徒会活動の充実	自主性と協調性を育てるクラブ活動・生徒会活動の支援ができたか。	・クラブ加入状況 ・クラブ顧問会での情報交換・文化祭への取り組み状況 ・あいさつ運動参加、規範意識の醸成状況	生徒会係、クラブ顧問会	クラブ加入状況は運動部関係は減少、活動はコロナ禍での関係部署からの指導を受け、それに従い実施できている 大会出場に制約はあるが、感染症対策を念頭に活動している。
部活動と学業の両立を支援できたか。		・クラブ指導のあり方、クラブ活動の総時間数検討 ・学校アンケートへの意見の状況			
⑤開かれた学校づくり	地域への情報発信に努め、地域行事への参加や地域人材の活用を推進したか	・地域行事への参加、地域人材の活用状況 ・小中学校の公開授業への参加状況、中学校への説明会実施	教務係、生徒会係、PTA同窓会係、各教科	・校外活動は感染予防に配慮しながら慎重に対応した。生徒自らの環境整備活動をPTAと共に実施。 ・7月に行われた体験入学ではコロナ感染予防のために午前と午後に分けて行った。その為か過去5年間のなかでは最多となる中学生589名、保護者202名の参加があった。春の公開授業は中止をしたが、10月下旬予定の秋の公開授業は中学3年生を対象として行うように準備を進めている。	